

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

**臨床研究名称：** APOA2-iを含む腫瘍マーカーを活用した最適な膵癌診断の検討

### 研究の目的

膵癌は自覚症状に乏しく進行するため、感度（腫瘍を検出する性能）の高い診断方法の確立が課題とされています。従来から血液検査で使用されている腫瘍マーカー（CA19-9、DUPAN-2、SPan-1）は一定の有用性を持ちますが、偽陰性（癌があるのに異常を示さないこと）などが問題となっています。APOA2-iは膵外分泌能異常を反映した新規マーカーですが、その有用性についてはまだわかっていないこともあります。膵癌診療におけるAPOA2-i および従来から使用されている腫瘍マーカーの性能や特徴などについて検討し、早期発見を目指した新たな診断方法について検討することを目的としました。

**研究実施** 実施許可日～2031年3月31日

**期間：**

**対象となる方：** 2024年8月から2026年2月までの期間で、当院でAPOA2-iの項目を含む血液検査を受けられた方

### 利用させていただきたい試料・情報について

**（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）**

当院のカルテに記載されている情報のうち、年齢、性別、身長、体重、検査を行う契機となった疾患名、急性膵炎の既往の有無、膵癌家族歴の有無、嗜好（飲酒歴、喫煙歴）組織検査の有無（行った場合はその病理結果）、血液検査データ（APOA2-i、CA19-9、DUPAN-2、SPan-1、他の腫瘍マーカー）、膵癌の場合には腫瘍に関連した項目（腫瘍径、組織型、ステージ、切除可能性分類、他臓器癌の有無）、併存疾患の有無（糖尿病、他の膵病変、肝疾患、脂質異常症、脂肪肝）、主膵管径、膵萎縮の有無を標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータの

みを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

**本件連絡先**

附属病院消化器内科、血液内科、免疫内科 吉田健太  
連絡先電話番号 0172-33-5111